



## アウトリーチ型定着促進支援「交流会」を開催しました

10月4日、看護管理者および中心メンバーを対象に「交流会」を開催しました。講義とグループワークを実施。9病院24名の参加者は、自病院の課題への取組みを振り返りながら、他施設との交流を図りました。

## 講義

テーマ：めざす姿に向けて、取り組みの方向性や評価方法を確認しよう  
講師：東京大学大学院医学系研究科  
助教 國江 慶子

- ・めざす姿に向かって取り組んでいるか
- ・取り組みは、組織の方向性と一致しているか
- ・変化した姿をどう測定・評価するのか
- ・評価時の、定量・定性評価の考え方等を学びました



## グループワーク

看護管理者グループは、講師を交えた具体的な進め方を討議しました。メンバーは、他病院との意見交換を通して交流を図りました。

## 発表



- マニュアルの作成や「患者満足度調査」の実施により、スタッフの意識が変わった。
- 病棟会を継続的に実施したところ、意見交換の場となり明るい未来が見えてきた。
- 中途採用者がなかなか定着しないため、質の高い看護を実践していくことを目標にしている。
- 看護師の能力差が大きいためクリニカルラダーを採用し、記録の取り組みを行っている。等の発表を通して情報を共有しました。

## 講師からのメッセージ

患者や職員がどう変化しているかをイメージしながら、自施設のペースで進めてください。

- <参加者の声>
- ・行き詰っていたので、他病院の話聞き参考になった。
  - ・苦労しているところは似ており、自分だけでないと実感した。
  - ・「もの差し」のアドバイスをもらえ、気づかせてもらった。
  - ・グループワークはとても良かった。等の意見がありました。

参加者同士の活発な意見交換により、後半の活動に役立つ有意義な研修となりました。ご参加ありがとうございました。